

## 取扱いの趣旨

抗インフルエンザウイルス薬は、定められた用法・用量に基づき投与することでウイルスの増殖が抑制されることから、複数種類の投与は過剰なため、当該医薬品の併用投与は、原則として認められない。

## 支払基金が公表している取扱いの全文

【投薬】 《令和6年2月29日》

### 57-1 抗インフルエンザウイルス薬の併用投与について

#### ○ 取扱い

抗インフルエンザウイルス薬の併用投与（内服薬2種、内服薬と吸入薬、内服薬と注射薬、吸入薬と注射薬）は、原則として認められない。

#### ○ 取扱いを作成した根拠等

抗インフルエンザウイルス薬は、通常、患者の年齢、体重、基礎疾患や状態等により選択した適切な1種を、定められた用法・用量に基づき投与することでウイルスの増殖が抑制されるため、複数種類の投与は過剰と考えられる。

以上のことから、抗インフルエンザウイルス薬の併用投与（内服薬2種、内服薬と吸入薬、内服薬と注射薬、吸入薬と注射薬）は、原則として認められないと判断した。

なお、抗菌薬は細菌感染症を合併した症例でその必要性が認められる。

このため、細菌感染症の傷病名のないインフルエンザウイルス感染症のみの傷病名の場合、抗インフルエンザウイルス薬（内服薬、吸入薬、注射薬）と抗菌薬の併用投与は、原則として認められないと判断した。

## 検証結果及び対応状況

検証観点	フォローアップ対象都道府県	備考
①適正な審査割合が低い	沖縄	適正な審査割合の低い順
②請求どおり・職員	—	
③請求どおり・審査委員	沖縄	対象1万件当たり件数の多い順

### ■①から③を通して、請求どおりのレセプトを適正な審査と判断した主な理由

- ・傷病名及び診療内容等より、一度治癒した後に再度インフルエンザウイルス感染症を発症しており、処方日が異なる2種の投与は併用投与には当たらないことから、妥当と判断した事例

### ■取扱いと異なる審査の多い都道府県の対応状況

①適正な審査割合が低い：職員及び審査委員の認識誤り（失念、誤解等）  
⇒上司から教育及び審査委員長から連絡・再周知

③請求どおり・審査委員：審査委員の認識誤り（失念、誤解等）  
⇒審査委員長から連絡・再周知

2024年8月～2025年1月審査分

該当件数に対する検証結果

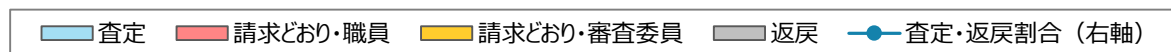
検証の結果、該当件数2,518件のうち、**取扱いと異なる審査は48件（1.91%）**  
検証対象47都道府県のうち、**フォローアップ対象は1都道府県**

都道府県	検証結果										
	計	取扱いに基づく適正な審査						取扱いと異なる審査 （ＣＣ解除等の誤処理）			
		適正 審査 合計	適正審査 の割合	査定・返戻			請求どおり 詳細等 から適正	取扱いの 認識誤り 合計	取扱いの 認識誤り の割合	職員	審査委員
				査定	返戻	査定 返戻 計					
01 北海道	68	68	100.00%	47	1	48	20	0	0.00%	0	0
02 青森	9	9	100.00%	6	0	6	3	0	0.00%	0	0
03 岩手	19	19	100.00%	7	1	8	11	0	0.00%	0	0
04 宮城	44	44	100.00%	27	0	27	17	0	0.00%	0	0
05 秋田	9	9	100.00%	4	0	4	5	0	0.00%	0	0
06 山形	12	12	100.00%	2	0	2	10	0	0.00%	0	0
07 福島	13	13	100.00%	4	1	5	8	0	0.00%	0	0
08 茨城	45	45	100.00%	29	1	30	15	0	0.00%	0	0
09 栃木	50	50	100.00%	18	1	19	31	0	0.00%	0	0
10 群馬	29	28	96.55%	6	0	6	22	1	3.45%	0	1
11 埼玉	93	92	98.92%	53	6	59	33	1	1.08%	1	0
12 千葉	108	107	99.07%	65	1	66	41	1	0.93%	0	1
13 東京	269	268	99.63%	209	2	211	57	1	0.37%	1	0
14 神奈川	171	165	96.49%	115	2	117	48	6	3.51%	4	2
15 新潟	16	16	100.00%	1	0	1	15	0	0.00%	0	0
16 富山	10	10	100.00%	4	0	4	6	0	0.00%	0	0
17 石川	9	9	100.00%	2	0	2	7	0	0.00%	0	0
18 福井	5	5	100.00%	1	0	1	4	0	0.00%	0	0
19 山梨	24	24	100.00%	13	0	13	11	0	0.00%	0	0
20 長野	30	29	96.67%	6	2	8	21	1	3.33%	0	1
21 岐阜	30	30	100.00%	21	0	21	9	0	0.00%	0	0
22 静岡	60	59	98.33%	28	3	31	28	1	1.67%	0	1
23 愛知	167	165	98.80%	68	1	69	96	2	1.20%	0	2
24 三重	42	42	100.00%	13	0	13	29	0	0.00%	0	0

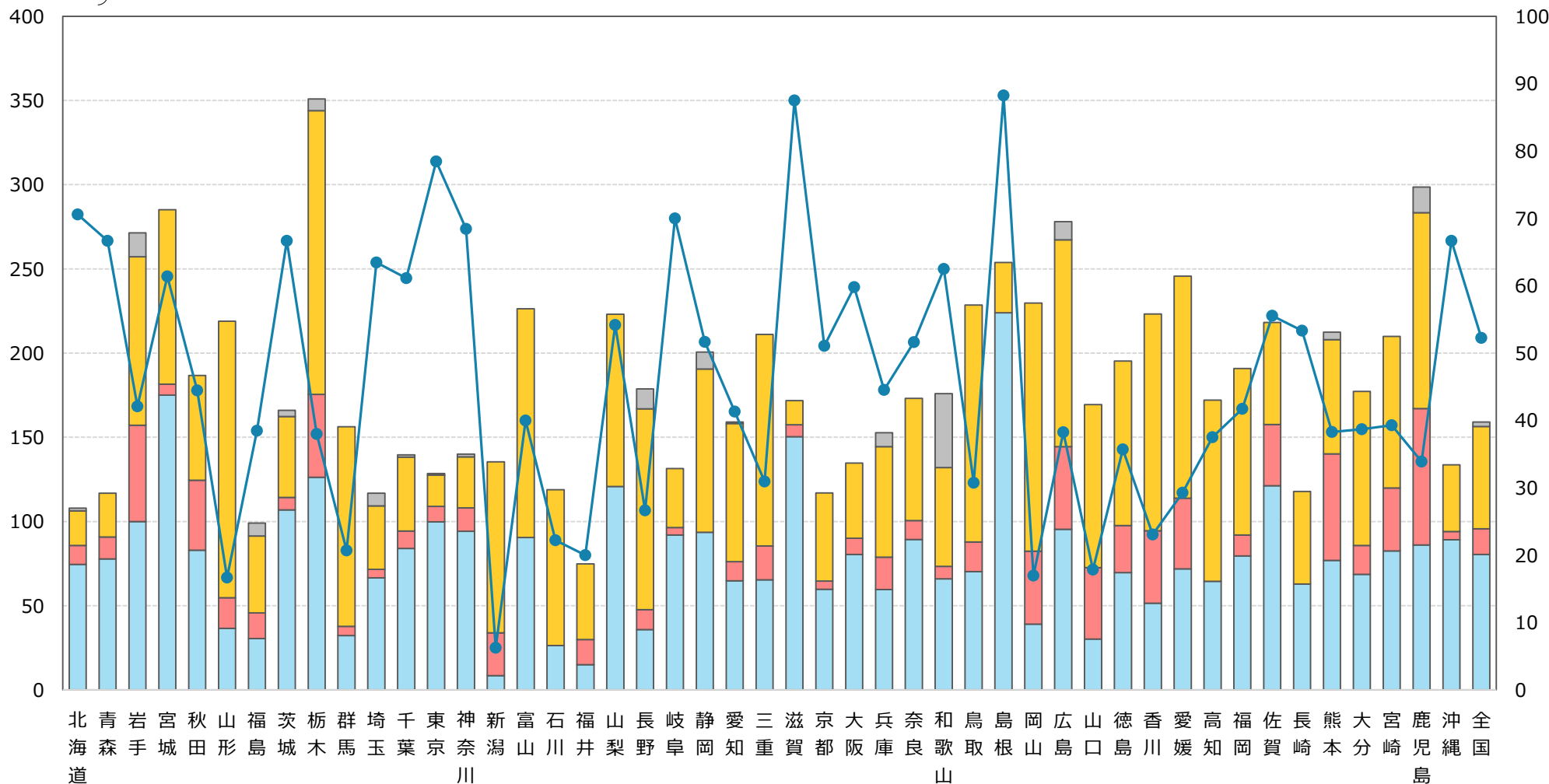
都道府県	検証結果										
	計	取扱いに基づく適正な審査						取扱いと異なる審査 （ＣＣ解除等の誤処理）			
		適正 審査 合計	適正審査 の割合	査定・返戻			請求どおり 詳細等 から適正	取扱いの 認識誤り 合計	取扱いの 認識誤り の割合	職員	審査委員
				査定	返戻	査定 返戻 計					
25 滋賀	24	23	95.83%	21	0	21	2	1	4.17%	1	0
26 京都	47	44	93.62%	24	0	24	20	3	6.38%	1	2
27 大阪	266	255	95.86%	159	0	159	96	11	4.14%	11	0
28 兵庫	128	126	98.44%	50	7	57	69	2	1.56%	2	0
29 奈良	31	28	90.32%	16	0	16	12	3	9.68%	1	2
30 和歌山	24	23	95.83%	9	6	15	8	1	4.17%	1	0
31 鳥取	13	13	100.00%	4	0	4	9	0	0.00%	0	0
32 島根	17	17	100.00%	15	0	15	2	0	0.00%	0	0
33 岡山	53	51	96.23%	9	0	9	42	2	3.77%	0	2
34 広島	102	95	93.14%	35	4	39	56	7	6.86%	1	6
35 山口	28	28	100.00%	5	0	5	23	0	0.00%	0	0
36 徳島	14	14	100.00%	5	0	5	9	0	0.00%	0	0
37 香川	26	26	100.00%	6	0	6	20	0	0.00%	0	0
38 愛媛	41	41	100.00%	12	0	12	29	0	0.00%	0	0
39 高知	8	8	100.00%	3	0	3	5	0	0.00%	0	0
40 福岡	139	138	99.28%	58	0	58	80	1	0.72%	0	1
41 佐賀	18	18	100.00%	10	0	10	8	0	0.00%	0	0
42 長崎	15	15	100.00%	8	0	8	7	0	0.00%	0	0
43 熊本	47	47	100.00%	17	1	18	29	0	0.00%	0	0
44 大分	31	31	100.00%	12	0	12	19	0	0.00%	0	0
45 宮崎	28	28	100.00%	11	0	11	17	0	0.00%	0	0
46 鹿児島	59	59	100.00%	17	3	20	39	0	0.00%	0	0
47 沖縄	27	24	88.89%	18	0	18	6	3	11.11%	0	3
全国	2,518							48	1.91%	24	24

※グレーは検証前データ又は検証の結果により、少数事例に該当

目視1万件当たり  
該当件数



2024年8月 ～ 2025年1月審査分 (%)



該当件数	68	9	19	44	9	12	13	45	50	29	93	108	269	171	16	10	9	5	24	30	30	60	167	42	24	47	266	128	31	24	13	17	53	102	28	14	26	41	8	139	18	15	47	31	28	59	27	2,518
請求どおり件数	20	3	11	17	5	10	8	15	31	23	34	42	58	54	15	6	7	4	11	22	9	29	98	29	3	23	107	71	15	9	9	2	44	63	23	9	20	29	5	81	8	7	29	19	17	39	9	1,202

【該当件数】抗インフルエンザウイルス薬を併用投与（内服薬2種、内服薬と吸入薬、内服薬と注射薬、吸入薬と注射薬）しているレセプト件数